

よりみちエールのあとは…



ヒロユキ エール

H I R O Y U K I

A L E

日本のビール界の第一人者であり、『よりみちエール』の監修もつとめる藤原ヒロユキ氏が、作中に出てくるビールやお店について徒然なるままにあれやこれや語ります。

第2回のテーマは、「セッションIPA」。



TAP
2

「セッションIPA」に似合う音楽といえば、ジャズである。

ミュージシャン達が集まって即興で演奏する“セッション”は、“語り合いながら飲んだり食べたりする会食”に似てるよねってことから、「みんなで集まった時に落ち着いて飲み続けることができるIPA」として生まれたのが「セッションIPA」というビア・カテゴリーである。

その背景には、刺激的な苦味と高めのアルコール度数のIPAが流行した時期に、内心「1杯はアリとしても、2杯3杯はツライなあ」と感じる人が多かったからでもある。

つまり、「セッションIPA」とは、【苦味もアルコール度数も穏やかで、飲み疲れしないIPA】なのだ。

そんな「セッションIPA」に似合う音楽といえば、ジャズである。なぜならば、「セッション＝自由で即興的な演奏」はジャズの真骨頂だからだ。ビールと料理のペアリングのように、ビールと音楽のジャンルにも相性があると思う。

クラシックならばモルト感が重厚なドイツの黒ビール、カントリー&ウエスタンにはバーボン樽で寝かしたスタウト、演歌には…日本酒と思いきやベルギーのアルコール高めのダークエールなんて組み合わせを楽しみたい。

自由が丘の「BLUE BOOKS cafe」でオリジナルブランドビール「セッション」を飲みながら、好みの本のページをめくり、ジャズに耳を傾ける。ここは“感覚が開いていく空間”である。ポソポソと静かに交わされるおしゃべりの中に英語が混じっていて、ニューヨークのブルックリンあたりにいるような気分になれるのも面白い。



ブルーノート東京ビール
“セッション”
[スタイル] セッションIPA
[醸造所] 木内酒造
[アルコール度数] 4.5%
[国・地域] 日本



『セッション』
ここで飲めます!

藤原ヒロユキ (ビアジャーナリスト/ビール評論家)

1958年生まれ。大阪教育大学卒業後、中学教員を経てフリーのイラストレーターに。ビールを中心とした食文化に造詣が深く、(一社)日本ビアジャーナリスト協会代表として、各メディアで活躍。“ワールドビアカップ”をはじめ、海外の国際ビアコンテストの審査員を務め、著書に「知識ゼロからのビール入門」「BEER HAND BOOK」「ビールはゆっくり飲みなさい」など多数。



ブルー ブックス カフェ
BLUE BOOKS cafe 自由が丘店

〒152-0035 東京都目黒区自由が丘2丁目9-15
ユレカビル B1 ☎03-6825-8686

※現在の営業時間はお店にお問い合わせください。